

令和4年度第2回社会教育関係団体指導者等研修会
子どもの豊かな体験活動を支援する子ども会育成会
～持続可能な取組を目指して～



【令和4年度脇本校区駅伝大会】

阿久根市脇本校区子ども会

1 はじめに 組織の紹介

阿久根市脇本校区子ども会育成会

(事務局:脇本小学校)

育成会長 山平 千代子(脇本小PTA監事)

副会長 柏木 宏美(脇本小PTA監事)

副会長 川崎 真理(脇本小PTA監事)

書記・会計 横山 浩之(脇本小教頭)

監事 民生委員2人

理事 尾上 民江(脇本小PTA会長)他11人

各単位子ども会育成会長16人

顧問 区長会長, 区長副会長, 小・中学校長

脇本小P戸数 132戸 脇本小校区住民 4,109名

持続可能な社会の創り手

子どもの体験活動による成長を支援する持続可能な取組

【社会に開かれた教育課程】

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る
学校と地域の連携・協働・・・

【PTA活動】

子どもの健全な育成・保護者と教員が協力
学校および家庭教育への理解・会員相互が学び合う・・・

【子ども会育成会活動】

子どもを構成員とする集団に指導者, 育成者が加わる・・・

連携・協力

コロナ禍

価値観の多様化

人口減

2 人的ネットワークの必要性



いつもいつのときでも ～ステキだね 阿久根～

作詞 中野 正弘 作曲 青野 浩哉

海辺に広がる 緑の大地
豊かな恵みは みなぎる力に
七つの不思議と マリンブルー
歴史と文化の 薫るまちなみ
ゆれるつわぶきに そそぐ太陽
かわすあいさつで あふれる笑顔
いつもいつのときでも **心を紡ぐまち**
いつもいつのときでも ステキだね 阿久根

みんなが行きかう 阿久根ステーション
駅舎のふれあい 広がる人の和
学びのセンター さわやか風テラス
新たな出会いで 思いは一つに
歩んでほしい あなたのオレンジロード
見つけてほしい 明日への架け橋
いつもいつのときでも **絆を紡ぐまち**
いつもいつのときでも ステキだね 阿久根

心を紡ぐ
絆を紡ぐ
夢を紡ぐ

人的ネットワーク
づくり

つながり 育み その先に広がる
未来の扉 開けて 輝きながら
いつもいつのときでも **夢を紡ぐまち**
いつもいつのときでも ステキだね 阿久根
愛しの阿久根

脇本校区駅伝大会

子ども会育成会 地区体育協会 保護者



道後押し

小中学生懸命
地域活気づく
阿久根・脇本大会
阿久根市脇本地区の駅伝
大会が15日、4年ぶりにあ

った。地元の小中学生や教
員らでつくる計14チームが
出場。懸命に走る選手を沿
道の拍手が後押しし、地域
が活気づいた。写真。
同地区子ども会育成会の
主催。小学生（8チーム）
と中学生・一般（6チーム）
の部に分かれ、田んぼ沿い
の6区間計8・5キロで競つ
た。出番を待つ中学生が先
に走っている小学生を懸命
に応援する姿も見られ、会
場は一体感に包まれた。
三笠中2年前田悠真さん
は「たすきを通してみんな
の気持ちがあがった」。
脇本小4年の大瀧翠月さん
は「一人でも追い越したい
と思って走った」と話した。
(加藤武司)



一般の部(三笠中部活動チーム・脇本小教員チーム)

3 心・絆・夢を紡ぐ連携・協働による取組1

脇本校区駅伝大会

子ども会育成会 地区体育協会 保護者



小学生の部(脇本小スポーツ少年団チームと各地区チーム)



当日朝の監督会議

3 心・絆・夢を紡ぐ連携・協働による取組1

脇本校区駅伝大会

子ども会育成会 地区体育協会 保護者

4年ぶりの
大会

持続可能な運営の工夫

トンガ沖火山噴火による津波注意報
(R3), コロナ(R2), 雨天(R1)

- ① 協力体制・ネットワークづくりの確立
 - ・ 子どもが参加しない地区にも運営の協力を要請する。
 - ・ 駅伝の指導者(個人や学校)への指導を依頼する。
 - ・ 事務局と脇本地区体育協会との綿密な打合せを行う。
- ② 天候等による中止対策
 - ・ 大会中止を考慮し、大会終了後に区間賞の盾の発注を行う。

脇本校区駅伝大会

子ども会育成会 地区体育協会 保護者

持続可能な運営の工夫

- ③ 管理しやすいコース選定と参加しやすいチーム編成
 - 周回コースで車の交通量が少ない。また、トイレの確保ができる。
 - 小学生の部では1周1.7キロを2人で走っても可とする。
 - 地区子ども会でチームが組めない場合は、少年団チームでの参加を促す。
- ④ 新型コロナウイルス感染対策
 - 開閉会式を行わない。
 - たすきの受け渡し後は、消毒をする。

3 心・絆・夢を紡ぐ連携・協働による取組2

伝統芸能「山田楽」 の継承活動

外部指導者 教員 保護者

阿久根市の脇本小学校の5年生25人が9月30日、郷土芸能の「山田楽」を校区内の宮崎神社に奉納した。学校から大小の太鼓や鉦を響かせながら練り歩き、境内で勇壮に舞った。

山田楽は戦国時代の勇将で出水の地頭だった山田昌巖が広めたとされ、同校は1984年か

勇壮の山田楽 児童ら元気に

阿久根・脇本小

ら伝承活動を続ける。今年も夏休みから練習を始め、この日が初めての披露となった。

色鮮やかな衣装に身を包んだ児童らは左右に跳びはね、保護者や見物人らを魅了。指揮役の「親がね」を担当した樺山星希君は「しっかり音を出すよう心がけた。元気に踊れて良かった」と笑顔を見せた。（加藤武司）



勇壮な舞を披露する児童

＝阿久根市脇本の宮崎神社



山田楽引継ぎ会での協議

R4. 10. 4 南日本新聞

3 心・絆・夢を紡ぐ連携・協働による取組2

古里地区による伝統芸能「山田楽」の継承活動

子ども会育成会 保護者



「華の50歳組」歓迎レセプションでの山田楽披露

3 心・絆・夢を紡ぐ連携・協働による取組2

古里地区による伝統芸能「山田楽」の継承活動

子ども会育成会 保護者

持続可能な運営の工夫

- ① 協力体制・ネットワークづくりの確立
 - ・ 地区内の世代間の継承による指導体制の確認をする。
 - ・ 日頃からの地区内の人間関係の構築に心がける。
- ② 参加しやすい雰囲気作り
 - ・ 楽器や衣装が代々受け継がれている。
 - ・ 近所の大人同士，子ども同士で声を掛け合う。

3 心・絆・夢を紡ぐ連携・協働による取組2

古里地区による伝統芸能「山田楽」の継承活動

子ども会育成会 保護者

持続可能な運営の工夫

③ 新型コロナウイルス感染対策

- 屋内をさけ，宮崎神社境内で練習する。
- 練習後に手指や太鼓等の消毒をする。

④ 地域の指導者との連携

- 集落放送による練習日程の確認をする。
- 練習後に指導者への声かけに心がける。

3 心・絆・夢を紡ぐ連携・協働による取組3

子ども会球技大会

子ども会育成会 保護者



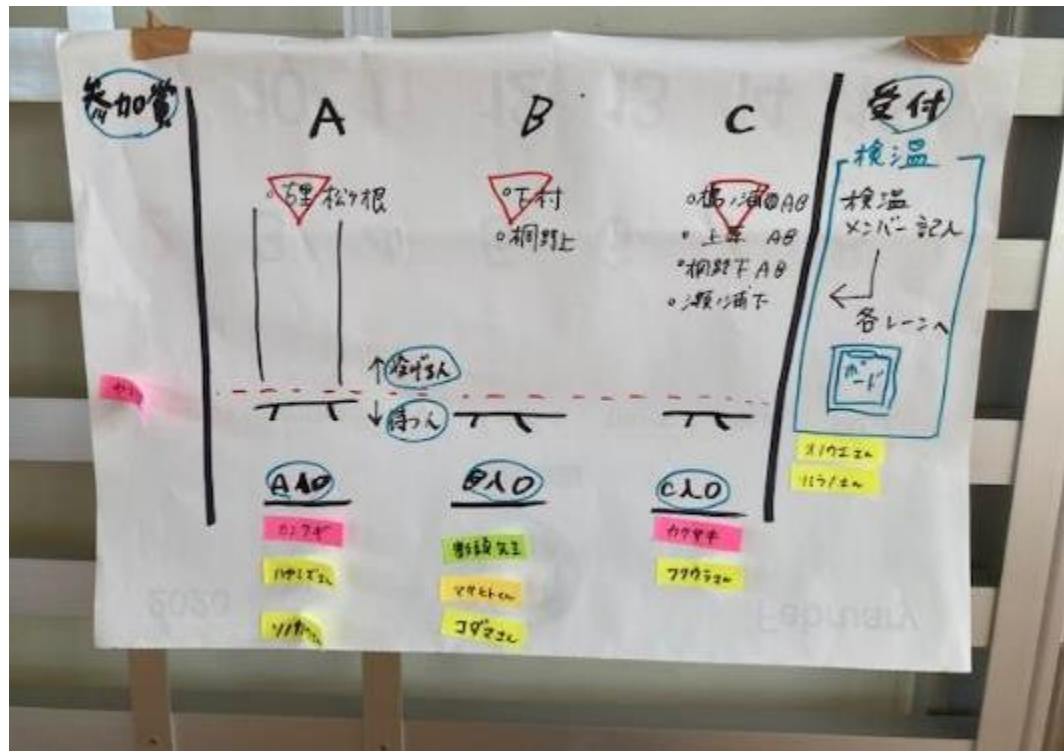
天候に左右されない会場

接触をさけるレーン構成

3 心・絆・夢を紡ぐ連携・協働による取組3

子ども会球技大会

子ども会育成会 保護者



会場図

	A	B	C
9:00 ~ 9:20	古里・松ヶ根 A	下村	瀬之浦西 A
9:20 ~ 9:40	" B		" B
9:40 ~ 10:00	" C	桐野上	上原 A
10:00 ~ 10:20	" D		" B
10:20 ~ 10:40	" E		桐野下 A
10:40 ~ 11:00			" B
11:00 ~ 11:20			瀬之浦下

競技開始時刻とレーン

子ども会球技大会

子ども会育成会 保護者

4年ぶりの
大会

持続可能な運営の工夫

コロナ(R3), コロナ(R2), 雨天(R1)

① 協力体制・ネットワークづくりの確立

- ・ 役員会での情報収集と保護者, 外部協力者への早めの依頼(ペットボトル, 段ボール集め)をする。

② 参加しやすい競技とチーム編成

- ・ 役員会で試技を重ね, 誰でもできるペットボトルボーリングに変更した。
- ・ 参加者を限定せず, 小中学生と保護者であれば可とした。

子ども会球技大会

子ども会育成会 保護者

持続可能な運営の工夫

③ 新型コロナウイルス感染対策

- ・ 開閉会式を行わない。・ 競技しない人は、椅子で待機する。
- ・ 開始時刻とレーンを決めておき、接触の機会を減らす。

④ 天候等による中止対策

- ・ 天候に左右されない体育館で実施できる競技(ペットボトルボーリング)に変更した。
- ※ 以前は、校庭でグラウンドゴルフを行い、熱中症のリスクもあった。

3 心・絆・夢を紡ぐ連携・協働による取組4

阿久根市花壇コンクール

子ども会育成会 鶴翔高等学校 保護者



地区ごとの花の苗の仕分け



地区の花壇を彩る花の苗

3 心・絆・夢を紡ぐ連携・協働による取組4

阿久根市花壇コンクール

子ども会育成会 鶴羽高等学校 保護者



地区の花壇に花の苗を植える子どもたち

毎年実施

阿久根市花壇コンクール

子ども会育成会 鶴翔高等学校 保護者

持続可能な運営の工夫

- ① 協力体制・ネットワークづくりの確立
 - ・ 事務局から苗の配布のお知らせをする。
 - ・ 各地区で作業日の日程調整と子どもたちや協力者への呼びかけを行う。
- ② 花の育成活動へのモチベーションの向上
 - ・ 植物を育てることを通して、美しい花を愛でる楽しみをもたせる。
 - ・ コンクールの審査結果を楽しみにさせる。

阿久根市花壇コンクール

子ども会育成会 鶴翔高等学校 保護者

持続可能な運営の工夫

③ 新型コロナウイルス感染対策

- ・ 密になる時間を少なくして、手際よく植える。
- ・ 作業時のマスク着用と作業後の手指の消毒を徹底する。

④ 参加助成費の効果的な活用

- ・ 肥料や鍬などの計画的な購入を行う。
- ・ 花壇ノートに記録する写真の印刷費用とする。
- ・ 市全体ではなく、地区内での賞を決めて、表彰する。

3 心・絆・夢を紡ぐ連携・協働による取組 その他

アフガニスタンにランドセルを贈る活動

子ども会育成会 NGO 教員 保護者 地域住民

脇本小ランドセル21個 海外で再活用

3月31日、脇本小学校を卒業する6年生の児童が、ランドセルをアフガニスタンなどの国へ届けるため、愛用したランドセルを体育館に持ち寄りました。この取り組みは、SDGsをテーマとした同校の授業の一環で企画されたものです。ランドセルはNGO団体を通してアフガニスタンなどの国へ送られます。

送料の負担を補うための空き缶回収の呼び掛けに地域の方々からも協力があり、藤崎隆博校長は「小学校だけの取り組みではなく、地域の支えがあって実現できた取り組みでありたい」と話しました。



R4. 5月号 広報あくね



送料を捻出するためのアルミ缶回収



子ども会育成会の協力

区長による集落放送での呼びかけ



阿久根市社会福祉協議会のインスタでの呼びかけ

4 成果と課題

① 成果

- 持続可能な取組ができるように、「協力体制・ネットワークづくり」「取組内容」「コロナ対応」等を意識して体験活動の場を提供した。
- 取組の様子が新聞・広報誌・ブログ等で広く周知されることで、子どもたちの健全育成に関わる大人の意識が高まりつつある。

② 課題

- 子ども会役員の任期が1年のため、引継ぎ文書だけでなく、過年度の役員による支援体制をより一層整えていかなければならない。
- 子どもの減少に伴い、地区の再編が求められる。
- 子どもの手による子ども会活動を目指して、取組内容や方法を見直していく必要がある。

5 おわりに

子ども会育成会（子ども，指導者，育成者），教職員，保護者，地域住民の**思い（夢・希望・願い等）をつなぐ**



心・絆・夢を紡ぐ連携・協働の姿

指導者は，人的ネットワークの核

SNS, ブログ等も効果的に活用！

コミュニケーションを密に
承認 信頼 協力 創造 感謝...

マインドセット（心のあり方）

➡ **人は変わろうとする やればできる 前向きな態度**

5 おわりに

全国子ども会連合会による表彰

子ども会育成会 保護者 地域住民 教職員

地域行事を継続活動が全国表彰
阿久根・脇本子ども会

阿久根市の脇本地区子ども会育成会が、全国子ども会連合会（東京）の団体表彰を受けた。恒例の駅伝大会など地域に根付いた特色ある活動が評価された。

同会は毎年、駅伝のほかベットボトルポリングなどを楽しむ球技大会を実施。集落ごとの単位子ども会の一部では、住民の指導を受けて伝統芸能「山田桑」の稽古にも励んでいる。

16日に市役所を表彰した脇本小学校PTA会長の尾上民江さん(47)は「今後もさまざまな体験の場を見童に提供したい」と話した。指



賞状を掲げる脇本小学校の尾上民江PTA会長(左)と藤崎隆博校長 阿久根市の同校

導者・育成組織の部で表彰され、脇本地区を含む全国7団体が選ばれた。

(加藤武司)

R4. 11. 22 南日本新聞

子ども会育成会(子ども, 指導者, 育成者),
教職員, 保護者, 地域住民の**思い(夢・希望・願
い等)をつなぐ**

ご清聴ありがとうございました。